



MDA-7755JS

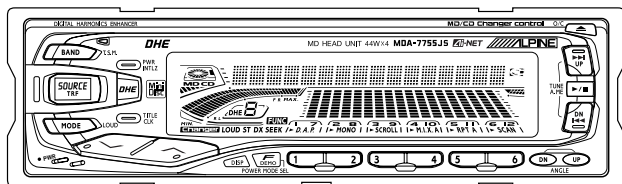
MD ヘッドユニット

取扱説明書

MD (ミニディスク) を聴く 8/9
MD の基本操作はここ！

DHE モードを選ぶ 21
デジタルリアルサウンドを楽しもう

タイトル/テキストを表示する 23
文字の表示や入力方法を説明します



MDA-7755JS

このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お使いになる前に説明書をよくお読みのうえ、理解してからお使いください。
お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。
本書の一部または全部を無断で転載しないでください。



安全にお使いいただくために、必ずお守りください








ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 禁 止	分解・改造をしない 分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。	
	小物類は幼児の手の届かないところに保管する 小物類<電池・ネジなど>は幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。	
 禁 止	 強 制	ヒューズの交換は容量を守る ヒューズ交換は、必ず規定容量（アンペア数）を守ってください。 規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。
 禁 止	 強 制	異常な状態になったら、直ちに使うのをやめる 音や画面が出ない・異物が入った・煙が出る・変な臭いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
 禁 止	運転中は操作をしない・表示を見ない 運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。 走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。 必ず安全な場所に車を停車させてください。	

安全にお使いいただくために、必ずお守りください



⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	音量を上げすぎない 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
 禁止	車以外に使わない 本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。
	新旧の電池を混ぜない 極性を間違えないように挿入する 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定していない電池を使用しないでください。また、挿入する際は極性<+・->に注意し指示通りに入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
 禁止	挿入口やすき間には異物を入れない ディスクの挿入口や可動ディスプレイのすき間に手や指、異物を入れないでください。ケガや故障の原因となることがあります。
	運転の妨げになる操作は停車させてから行う 可動ディスプレイの開閉やディスクの出し入れ操作が運転（シフトレバー操作など）の妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

安全にお使いいただくために



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

取り扱い上のご注意（MD）

ミニディスク（MD）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

シャッターを開けない / 内部にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る / ホコリやごみが付いたら拭きとる / バリが無いことを確認する。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどミニディスクを取り出しておくで正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行していると「音飛び」を起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。

可動部分の動作中は操作をしない

ディスプレイ開閉、角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。



安全にお使いいただくために

警告 / 注意	2
目次	5



ここだけ読めば使えます

リセットする	6
電源の ON/OFF	6
ディスプレイの角度調整	7
ディスプレイの開閉	7
MD (ミニディスク) を聴く	8
ラジオを聴く	10
チェンジャーで CD (MD) を聴く ...	12



MD / チェンジャー操作

曲のイントロだけを聴く	14
曲順を変えて聴く	15
繰り返し聴く	15



ラジオ操作

放送局を記憶する	16
自動的に放送局を記憶する	17
記憶した放送局を受信する	17
D.A.P.を利用する	18
道路交通情報を受信する	19



サウンド調整

音量 / バランス / フェダーの調整	20
DHE モードを選ぶ	21



タイトル / テキスト操作

タイトル / テキスト / スクロールとは	22
タイトル / テキストを表示する	23
テキスト・スクロールの設定	23
タイトルをつける	24
記憶したタイトルから CD を選ぶ	26
記憶したタイトルを消す	27



便利な機能

ディスプレイの明るさ調整	28
ディスプレイの濃淡調整	29
操作音の切りかえ	30
スเปアナ表示パターン of 切りかえ	31
時刻を設定する	32
時刻を表示する	33
拡張ユニット操作	
CDA-5755S を操作する	34
サブウーハーを接続する	36
外部割り込みモードの設定	39
TV (Ai-NET 対応) を操作する	40



リモコン操作

使用時のご注意 / 電池を入れる	42
基本 / MD / チェンジャー / ラジオ操作	43

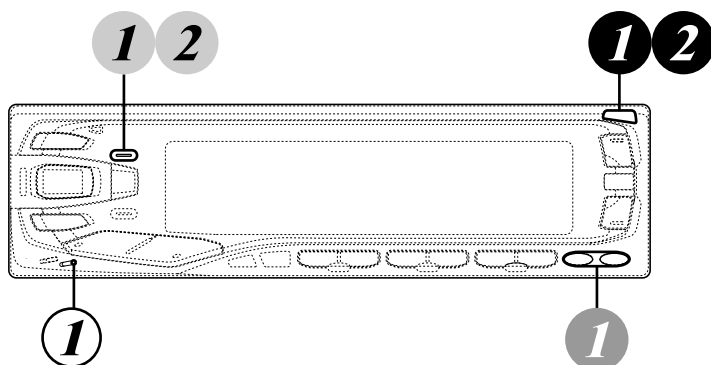
その他

故障かな? と思ったら	44
規格	46
保証について	47
お問い合わせ窓口	48
クイック・リファレンス	51



リセットする 電源の ON/OFF

このマニュアルの見方
イラストの ① は「リセットする」 ① ② は「電源の ON/OFF」
① は「ディスプレイの角度調整」 ① ② は「ディスプレイの開閉」
の操作手順に対応しています。



リセットする

初めて使うときや、チェンジャーなどを取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

- ① リセットスイッチをペン先などで押す。



リセットすると、時刻や記憶した内容が消去されます。
もう一度、登録し直してください。

電源の ON/OFF

- ① 「PWR」を押す。
電源が入る。



- ② 電源を切るときは、再度「PWR」を押す。



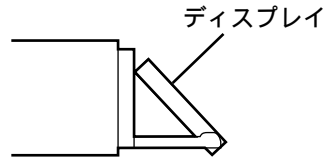
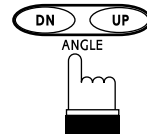
電源は「▲」以外のどのスイッチを押しても入ります。また、MD を挿入すれば電源が入ります。



ディスプレイの角度調整

ディスプレイを見やすい角度（3段階）に調整することができます。

- 1 「DN」または「UP」を押して角度を調整する。
調整したディスプレイの角度はそのまま記憶される。
- ・「DN」……ディスプレイは水平方向へ動く
 - ・「UP」……ディスプレイは垂直方向へ動く



（ディスプレイを角度調整した状態）



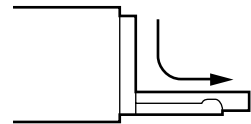
Memo

ディスプレイは、本機の電源を ON にすると、調整した角度までスライドします。

ディスプレイの開閉

イグニッション・キーを ACC または ON にするだけで、操作することができます。

- 1 「▲」を押す。
ディスプレイが開く。



（ディスプレイが開いた状態）

- 2 開いたディスプレイを閉じるには、
「▲」を押す。

- ・角度調整あり
ディスプレイは記憶された角度で止まる。
- ・角度調整なし
ディスプレイは全閉する。

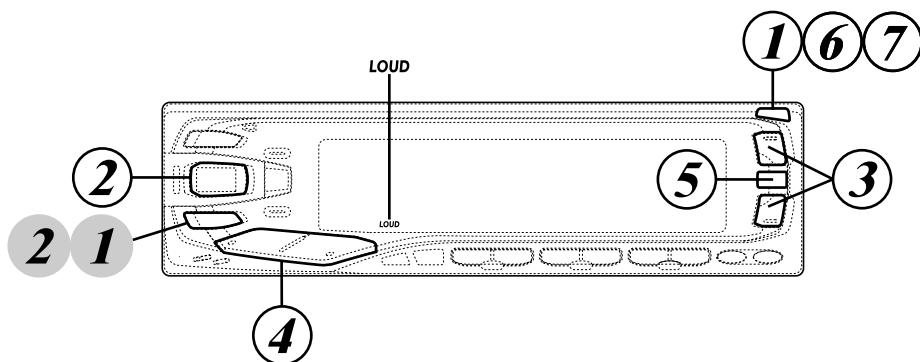


Memo

ディスプレイが開いた状態では、「▲」以外、操作できません。
本機の電源が ON のとき、開いた状態で 30 秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
イグニッション・キーを OFF にしてからしばらくすると、ディスプレイは全閉します。



MD (ミニディスク) を聴く

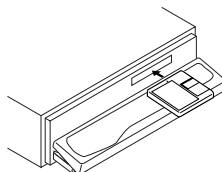


MD (ミニディスク) を聴く

- ① 「▲」を押して、ディスプレイを開く。



- ② ミニディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり、演奏がはじまる。



< 挿入時の注意 >
ラベル面を上にする。
ディスクに印字された
矢印に従い、挿入する。



Memo

すでにミニディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、MD モード (Mini Disc と表示) にすると演奏がはじまります。

↓
→ TUNER → MD → CHANGER →

(チェンジャー接続時のみ)

- ③ 「◀◀」または「▶▶」を押して、
聴きたい曲を選ぶ。

演奏中の曲の頭出し ...「◀◀」を押す。

早戻し「◀◀」を押し続ける。

次の曲の頭出し「▶▶」を押す。

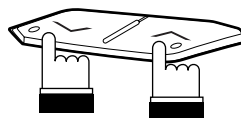
早送り「▶▶」を押し続ける。



T04 → T05

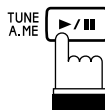


- ④ 「**▲**」または「**▶/||**」を押して、音量（0～35）を調整する。



- ⑤ 演奏を一時停止するときは、「**▶/||**」を押す。

再度「**▶/||**」を押すと、演奏が再開する。



MD II T01

- ⑥ ミニディスクを取り出すときは、「**▲**」を押す。

ミニディスクは必ず取り出す。



EJECT

- ⑦ 開いたディスプレイを戻すには、「**▲**」を押す。

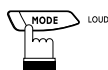


Memo

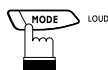
ミニディスクを取り出さずに「**▲**」を押すと、故障の原因となります。ディスプレイが開いた状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。MDモードでは、< **LOUD** インジケーター > が常に点灯しています。

ラウドネスを使う
人間の耳は音が小さくなると高音や低音が聴こえにくくなります。この音域の不足感を補うために高音・低音を強調させ、聴きやすくさせることができます。（外部オーディオ・プロセッサを接続すると、本機のラウドネス機能は使用できません）

- ① 「MODE」を2秒以上押して、< **LOUD** インジケーター > を点灯させる。

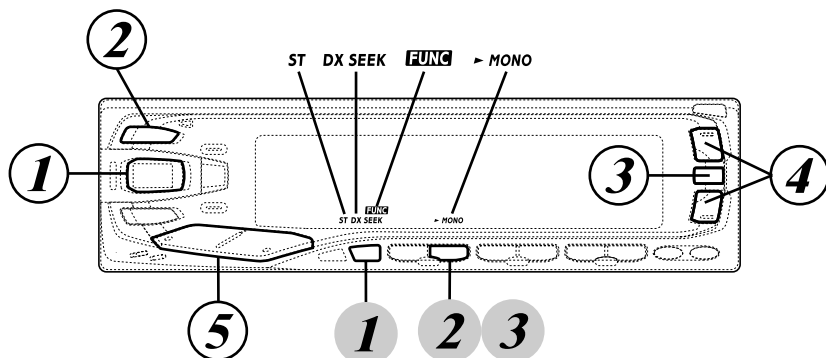


- ② 解除するには、再度「MODE」を2秒以上押す。



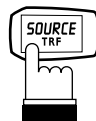


ラジオを聴く



ラジオを聴く

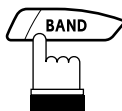
- ① 「SOURCE」を押して、TUNER
モードにする。
TUNER モードにするとアンテナが伸びる。
(パワーアンテナ装着車のみ)



↓
→ TUNER → MD → CHANGER →

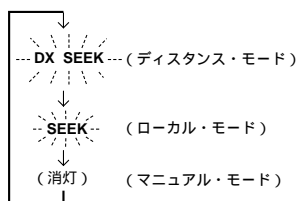
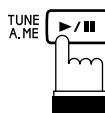
(チェンジャー接続時のみ)

- ② 「BAND」を押して、バンドを選ぶ。



→ FM1 → FM2 → AM →

- ③ 「▶/||」を押して、チューニング
モードを選ぶ。

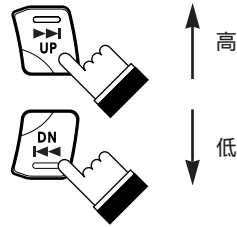


初期設定はディスタンス・モードに設定されています。

- ・ディスタンス・モードのとき... 受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
- ・ローカル・モードのとき..... 電波の強い放送局だけを自動的に受信します。
(自動選局)
- ・マニュアル・モードのとき... 1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)

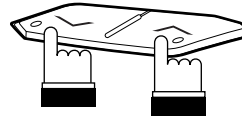


- ④ 「▶▶」または「◀◀」を押して、
聴きたい放送局（周波数）を探す。



81.3 MHz

- ⑤ 「」または「」を押して、音量
(0 ~ 35) を調整する。



ここだけ読めば使えます

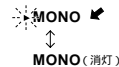
モノラル受信に切りかえる

ディスプレイに< **st** インジケーター> が点灯しているときは、FM ステレオ放送が受信されています。ノイズが多く FM ステレオ放送が聴きにくいときは、モノラル受信に切りかえると、聴きやすくなります。AM ステレオ放送はモノラルで受信します。

- ① 「F」を押して、< **FM** インジケーター> を点灯させる



- ② 「2」を押して、< **MONO** インジケーター> を点灯させる。

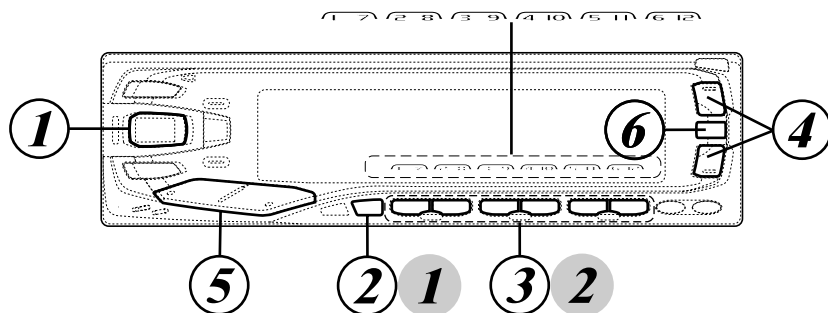


- ③ 解除するには、再度「2」を押す。



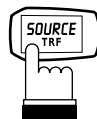


チェンジャーでCD (MD) を聴く



チェンジャーでCD (MD) を聴く

- ① 「SOURCE」を押して、
CHANGERモードにする。



→ TUNER → MD → CHANGER

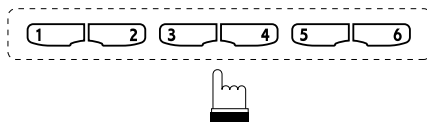
(チェンジャー接続時のみ)

- ② チェンジャーのディスク No.1 ~ 6 を
選ぶときは「F」を押して、
ディスプレイに1 ~ 6を表示させる。



1 2 3 4 5 6

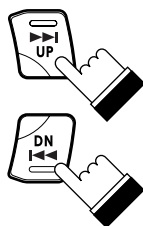
- ③ 「1」 ~ 「6」のいずれかを押す。
「1」 ~ 「6」はディスク No.1 ~ 6 に相当
する。



チェンジャーでCD (MD) を聴く

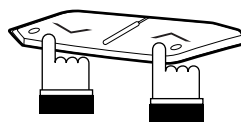


- ④ 「▶▶」 または 「◀◀」 を押して、
聴きたい曲 (トラック No.) を選ぶ。

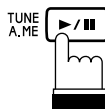


D02	T05	0'16
ディスク No.	トラック No.	演奏経過 時間

- ⑤ 「」 または 「」 を押して、
音量 (0 ~ 35) を調整する。



- ⑥ 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を
押す。
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。



D03 || T01



Memo

曲の早送り / 早戻しをするには、「▶▶」または「◀◀」を押し続けます。

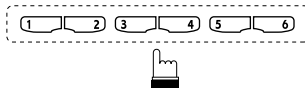
12 連奏チェンジャーのディスク No.7 ~ 12 を選ぶときは、
次の手順で操作してください。

- ① 「F」を押して、ディスプレイに
7 ~ 12 を表示させる。



7 8 9 10 11 12

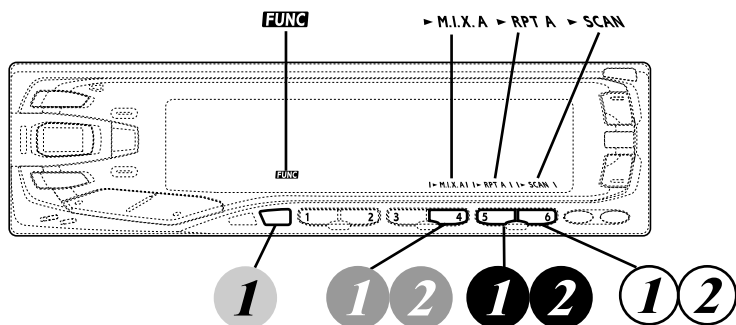
- ② 「1」 ~ 「6」のいずれかを押す。
「1」 ~ 「6」はディスク No.7 ~ 12 に
相当する。



ここだけ読めば使えます



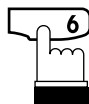
曲のイントロだけを聴く



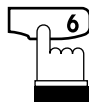
曲のイントロだけを聴く

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- ① 「6」を押して、
＜SCAN インジケーター＞を
点灯させる。
曲が約 10 秒間ずつ演奏される。

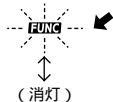


- ② 聴きたい曲が見つかったら
再度「6」を押す。
その曲の演奏を続ける。



チェンジャーモードのとき、
曲のイントロだけを聴く / 繰り返し聴く / 曲順を変えて聴く
上記機能をお使いの場合は、次のように＜FUNC インジケーター＞を点灯させてから、
各操作手順で行ってください。

- ① 「F」を押す。

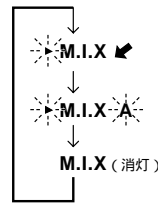




曲順を変えて聴く

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「4」を押して、
< M.I.X.インジケーター > を
点灯させる。
順不同に曲を演奏する。



チェンジャーモードの時

- 2 解除するには、再度「4」を押す。



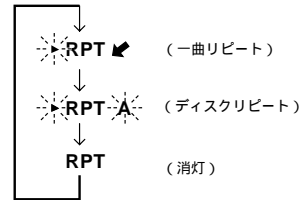
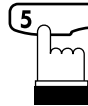
Memo

チェンジャーを接続したとき、「4」を押すことで、「▶ M.I.X. A」が指定できます。
・「▶ M.I.X.」を指定..... ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
・「▶ M.I.X. A」を指定... 1 曲ずつディスクを変えながら演奏します。
M.I.X.演奏中に、1 曲リピートはできません。

繰り返し聴く

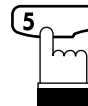
気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「5」を押して、
< RPT インジケーター > を
点灯させる。
選んだ曲を繰り返し演奏する。



チェンジャーモードの時

- 2 解除するには、再度「5」を押す。

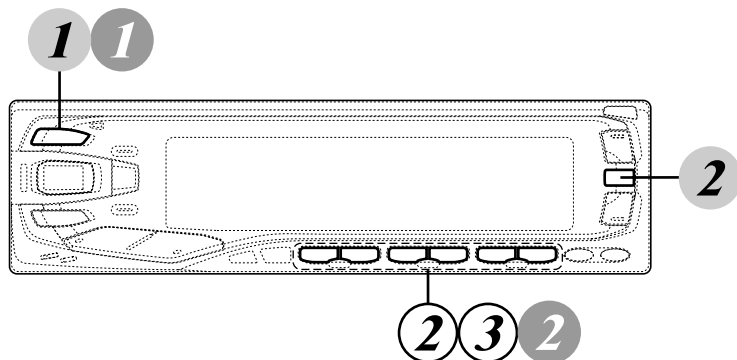


Memo

チェンジャーを接続したとき、「5」を押すことで、「▶ RPT A」が指定できます。
「▶ RPT A」を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。
M.I.X.演奏中に、1 曲リピートはできません。



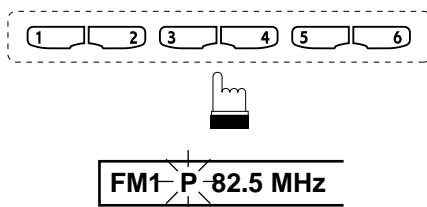
放送局を記憶する



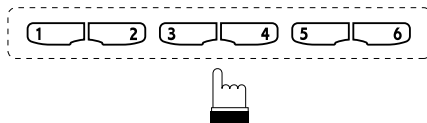
放送局を記憶する

- ① 「ラジオを聴く」(10 ページ) を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。

- ② 「1」～「6」のうち1つを2秒以上押す。
ディスプレイの「P」が点滅する。



- ③ 5秒以内に「1」～「6」のうち1つを押す。
押された No. に、放送局が記憶され、点滅から点灯に変わる。



放送局は 24 局まで記憶できます。

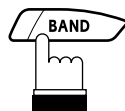
FM1 ... 6 局、FM2 ... 6 局、AM ... 6 局、FM + AM ... 6 局 (D.A.P.)

すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。



自動的に放送局を記憶する

- 1 「BAND」を押して受信したいバンドを表示させる。



→FM1→FM2→AM→

- 2 「▶/||」を2秒以上押す。
電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」～「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。



AUTO MEMORY



Memo

放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

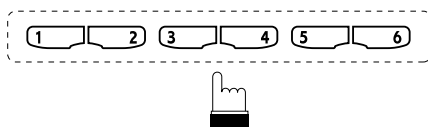
記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。



→FM1→FM2→AM→

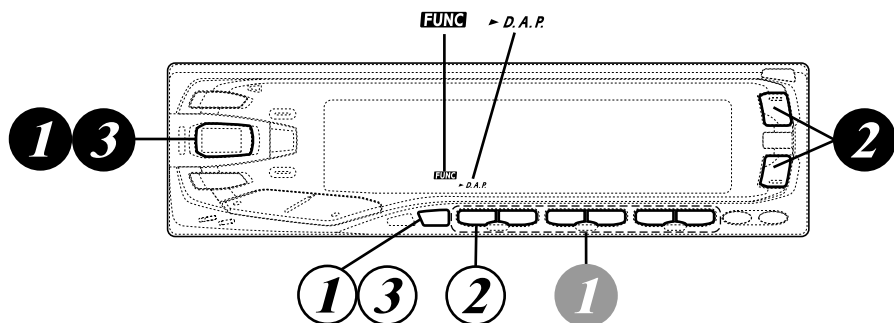
- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。
選択した放送局が受信される。



FM1 P2 81.3 MHz



D.A.P.を利用する



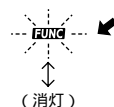
D.A.P.を利用する

D.A.P.とは 通常はバンドFM1にFM局だけ6つ、バンドAMにAM局だけ6つというように帯域毎に記憶します。D.A.P.を使うと「バンド」を意識することなく、6つのプリセットボタンにFMとAMを混在して記憶することができます。受信する放送局が限られているときなどに便利です。

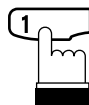
D.A.P.の切りかえ

< D.A.P.の ON/OFF 切りかえは、< FUNC インジケーター > がついているときに行う。 >

- ① 「F」を押して、< FUNC インジケーター > を点灯させる。

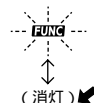


- ② 「1」を押して、D.A.P.の設定を切りかえる。



D.A.P. (OFF) ↔ D.A.P. (ON)

- ③ 「F」を押して、< FUNC インジケーター > を消す。



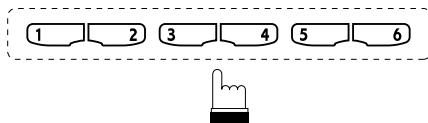


放送局を記憶する

- 1 D.A.P.が ON のとき、放送局を選択して記憶させる。
放送局の選択・記憶方法は「放送局を記憶する」(16 ページ)または「自動的に放送局を記憶する」(17 ページ)を参照。

記憶した放送局を受信する

- 1 D.A.P.が ON のとき、「1」～「6」のうち 1 つを押す。
選択された放送局が受信される。



FM P3 82.5 MHz

ラジオ
操作

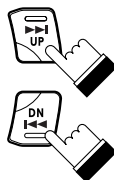
道路交通情報を受信する

- 1 「TRF」を 3 秒以上押す。
TRF モードになり、AM 放送の 1620kHz、または 1629kHz の交通情報を受信する。



1620 KHz

- 2 「▶▶」または「◀◀」を押して、
1620kHz/1629kHz を切りかえる。



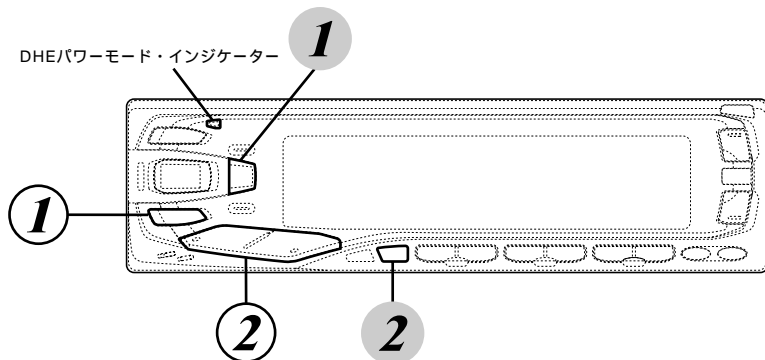
- 3 解除するには、再度「TRF」を押す。



MD、チェンジャー、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できます。

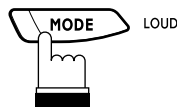


音質 / バランス / フェダーの調整



音質 / バランス / フェダーの調整

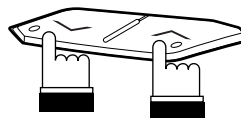
- ① 「MODE」を押して調整したいモードを選ぶ。



VOLUME	音量調整モード 音を大きくしたり小さくしたりします。(00 ~ 35)
BASS	低音域調整モード 低音域を強めたり弱めたりします。(- 7 ~ + 7)
TREBLE	高音域調整モード 高音域を強めたり弱めたりします。(- 7 ~ + 7)
BALANCE	バランス調整モード 左右のスピーカー音量を調整します。(L15 ~ R15)
FADER	フェダー調整モード 前後のスピーカー音量を調整します。(F15 ~ R15)

外部オーディオ・プロセッサーを接続すると、表示しません。

- ② 5秒以内に「**VOLUME**」または「**BASS**」を押して、好みのレベルに調整する。



Memo

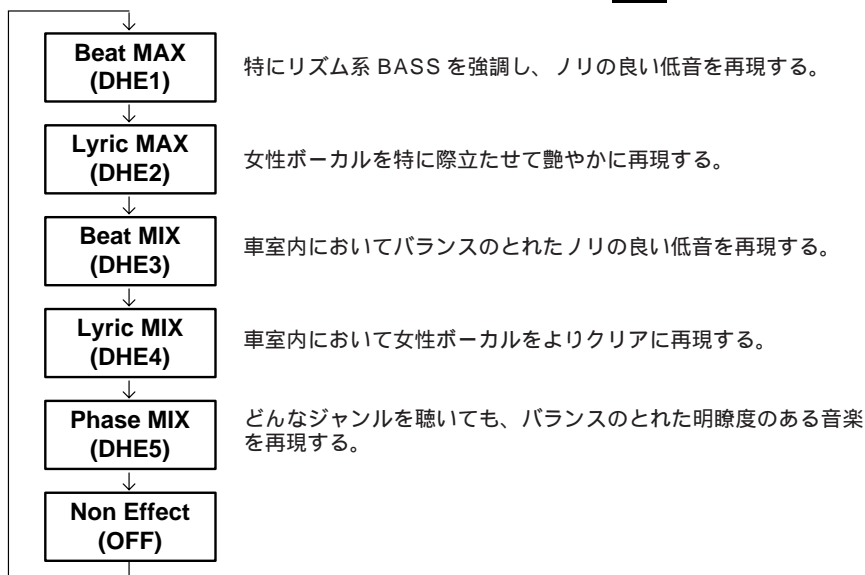
モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。「**VOLUME**」または「**BASS**」ボタンは、押し続けると連続で変化します。



DHE モードを選ぶ

DHE (Digital Harmonics Enhancer) は、各楽器やボーカルの音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。特に MD は、高度な圧縮方法で録音されているので効果的です。

- 1** 「DHE」を押す。
好みのモードを選ぶ。



- 2** 5 秒以内に「F」を押して、DHE パワーモードを切りかえる。
DHE パワーモードが ON のとき、< DHE パワーモード・インジケーター > が点灯する。



DHE パワーモードを「ON」に設定すると、DHE の効果が向上し、より力強い低音とクリアなサウンドを再現します。

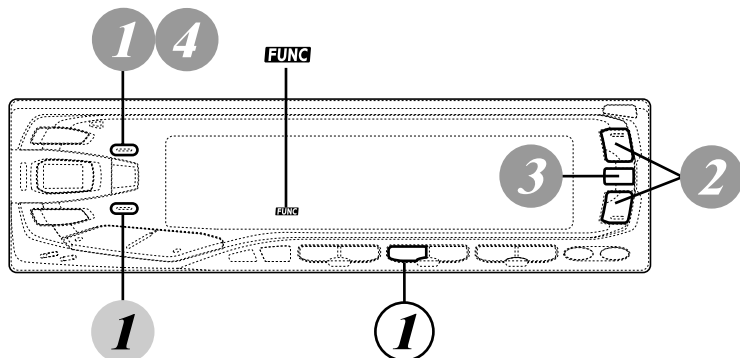
「DHE」を押した後、5 秒間は早送りなどのディスク操作は行えません。5 秒たつと通常モードに戻ります。

外部オーディオ・プロセッサを接続すると、本機の DHE 機能は使用できません。

CDA-5755S と接続しているとき、「DHE」を押さないでください。一部の操作を受け付けられない場合があります。



タイトル/テキスト/スクロールとは




タイトル/テキスト/スクロールとは

このマニュアルで使用する「タイトル」、「テキスト」、「スクロール」という言葉のちがいについて説明します。

タイトルとは 文字の入力と表示ができることを言います。本機の場合は「CD」や「ラジオ放送局」の名称をタイトルとしてつけることができます。「MD」には、つけられません。

テキストとは あらかじめ入力されている文字の表示ができることを言います。本機の場合は「CD」や「MD」の名称を表示します。

「CD」の場合、 マークがついているものにはテキストが入っています。
「MD」の場合、本機以外の製品で「MD タイトル」として入力したものは、本機の場合「MD テキスト」として表示します。製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。

タイトル/テキスト入力表示一覧

処理 モード	タイトル		テキスト	
	入力 (8桁)	表示 (8桁)	入力	表示 (32桁)
MD	x	x	x	
CD チェンジャー			x	
ラジオ			x	x

スクロールとは 表示する文字が 16 桁を超える場合、文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときにスクロール表示する「MANUAL モード」とスクロールを繰り返す「AUTO モード」を搭載しています。本機ではテキストのみスクロール表示します。

「マニュアルモード」のとき、再スクロールを行うには

①

「3」を押す。



チェンジャーの場合は、「F」を押して <  インジケーター > を点灯させてから、「3」を押してください。





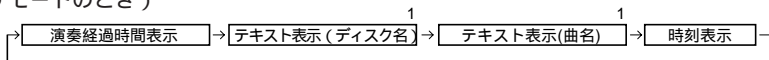
タイトル/テキストを表示する

「ラジオ放送局」や「CD」にタイトルが入力されていれば、タイトルを表示させることができます。また、CD テキスト対応の音楽 CD や MD の演奏中に、ディスク名/トラック名などのテキストを表示させることもできます。

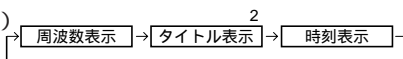
1 「TITLE」を押す。



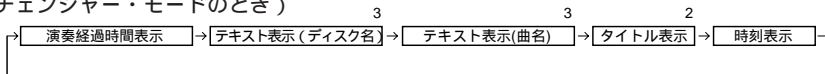
(MD モードのとき)



(TUNER モードのとき)



(チェンジャー・モードのとき)



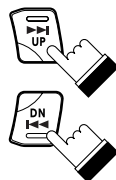
- 1 テキストが入っていない場合は **NO TEXT** と表示される
- 2 タイトルが入力されていない場合はハイフン 16 桁が表示される。
- 3 CD-TEXT 対応の CD チェンジャーが必要。テキストが入っていない場合は **NO TEXT** と表示される

テキスト・スクロールの設定

1 「INTLZ」を 3 秒以上押す。



2 「▶▶」または「◀◀」を押して SCROLL モードを選ぶ。



3 「▶/||」を押して、スクロールの設定を 切りかえる。



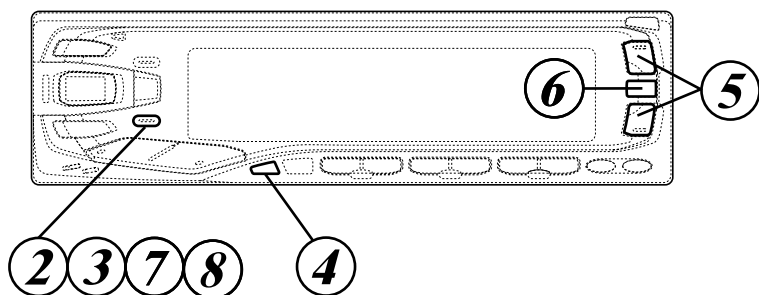
SCROLL AUTO ↔ **SCROLL MANUAL**
(工場出荷時の設定)

4 設定が終了したら「INTLZ」を押す。 通常表示モードに戻る。





タイトルをつける



タイトルをつける

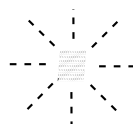
お好みの「ラジオ放送局」や「CD チェンジャーのCD」にタイトルをつけることができます。

- ① タイトルをつけたいCDまたはラジオ放送局を選ぶ。(10 ~ 13 ページ参照)

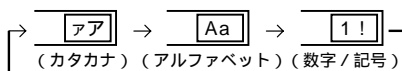
- ② 「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは「タイトル/テキストを表示する」(23 ページ)を参照。



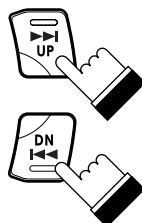
- ③ 「TITLE」を3秒以上押す。
ディスプレイの1桁目が点滅し、入力可能となる。



- ④ 10秒以内に、「DISP」を押して、文字の種類を選ぶ。



- ⑤ 10秒以内に、「▶▶」または「◀◀」を押して、入力したい文字記号を選ぶ。

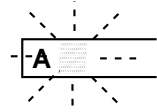


ここで (空白) を選び、文字を上書きすれば、タイトルを消すことができます。

タイトルをつける



- ⑥「▶/||」を押す。
ディスプレイの1桁目が確定し、2桁目が点滅する。



- ⑦4～6を繰り返し8桁まで入力できる。
8桁未満のときは「TITLE」を押して、タイトル入力を終了させる。



- ⑧タイトル表示モードを解除するには、
「TITLE」を押して、表示モードを切りかえる。



<入力可能文字一覧>

カナ	(空白)	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ
	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ
	ソ	タ	チ	ツ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ
	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム
	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ
	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	。	*		

英字	(空白)	A	a	B	b	C	c	D	d	E
	e	F	f	G	g	H	h	I	i	J
	j	K	k	L	l	M	m	N	n	O
	o	P	p	Q	q	R	r	S	s	T
	t	U	u	V	v	W	w	X	x	Y
	y	Z	z							

数字記号	(空白)	0	1	2	3	4	5	6	7	8
	9	!	"	#	\$	%	&	'	()
	*	+	-	,	.	/	:	;	<	=
	>	?	[\]	_				



Memo

ディスプレイに **Full Data** と表示されたときは、不要なタイトルを消してから、入力してください。

本機では、MDにタイトルを入力することはできません。

ラジオ放送局には最大24局（FM/AM合わせて）まで、タイトルをメモリーできます。

CDチェンジャーの場合は機種によってメモリー数が異なります。

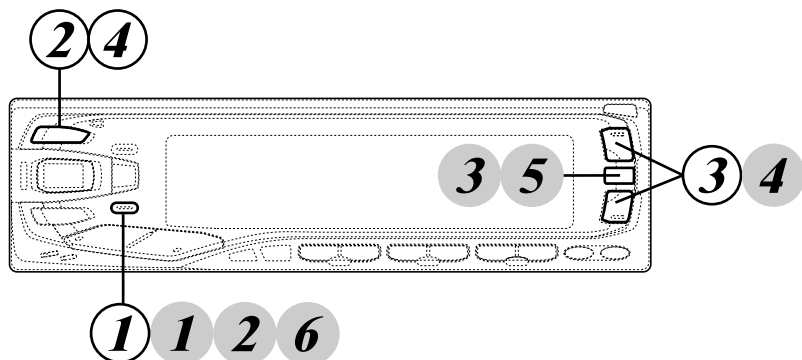
記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されます。

手順4～6の各操作は、10秒間操作を行わないと、入力モードが解除されます。

曲にタイトルをつけることはできません。



記憶したタイトルから CD を選ぶ



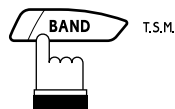
記憶したタイトルから CD を選ぶ (CD チェンジャーのみ)

マガジン内の CD につけられたタイトルから CD を選び出すことができます。

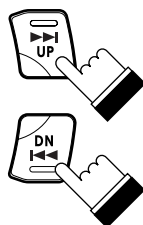
- ① CD チェンジャー・モードのときに、「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(23 ページ)を参照。



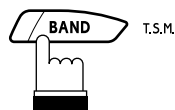
- ② 「BAND」を 2 秒以上押す。
選択モードになり、1 枚目のディスクのタイトルが点滅表示される。



- ③ 10 秒以内に「▶▶」または「◀◀」を押して、聴きたいディスクのタイトルを選ぶ。



- ④ 「BAND」を押す。
選択モードが解除され、聴きたいタイトルのディスクを演奏する。





記憶したタイトルを消す (CD チェンジャーのみ)

CD チェンジャーでは、記憶したタイトルを簡単に消去することができます。

- 1 CD チェンジャー・モードのときに、「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(23 ページ)を参照。



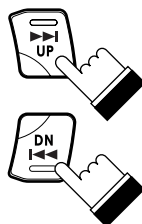
- 2 「TITLE」を 3 秒以上押す。
タイトルの 1 桁目が点滅する。



- 3 10 秒以内に「▶/||」を 2 秒以上押す。
最初にメモリーされたタイトルが点滅する。



- 4 10 秒以内に「▶▶」または「◀◀」を押して消去したいタイトル名を探す。



- 5 「▶/||」を 2 秒以上押す。
タイトルが消去される。



- 6 タイトル消去モードを解除するには、「TITLE」を 3 秒以上押す。

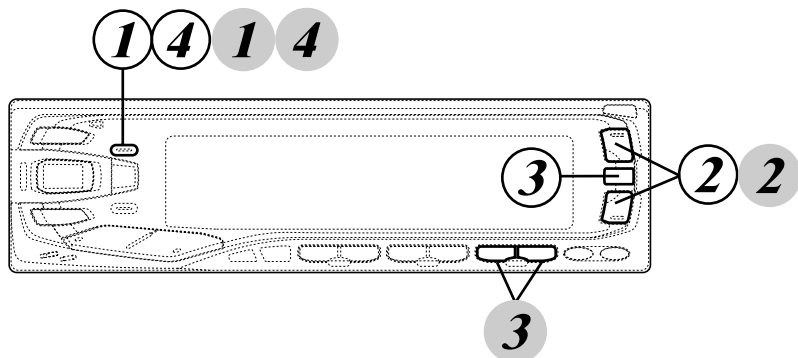


Memo

CD チェンジャー・モード以外の場合、タイトルを消すには、消したいタイトルに空白を上書きしてください。



ディスプレイの明るさ調整



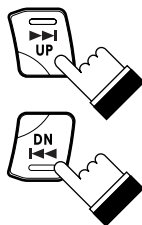
ディスプレイの明るさ調整

「AUTO」に設定すると、ヘッドライト点灯のとき、ディスプレイが減光します。夜間、ディスプレイが明るすぎる場合には「AUTO」にすることをお勧めします。

- ① 「INTLZ」を 3 秒以上押す。



- ② 「▶▶」または「◀◀」を押して
DIMMER モードを選ぶ。



→ DIMMER → N.F.P → BEEP → MUTE → SCROLL → CONTRAST →

- ③ 「▶/||」を押して、DIMMER の設定を
切りかえる。



DIMMER MANUAL ↔ DIMMER AUTO
(工場出荷時の設定)

- ④ 設定が終了したら「INTLZ」を押す。
通常表示モードに戻る。





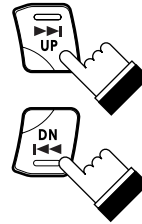
ディスプレイの濃淡調整

ディスプレイの表示が見えにくいときは、ディスプレイの濃さを調整することができます。

- 1 「INTLZ」を3秒以上押す。

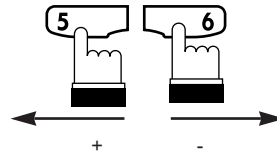


- 2 「▶▶」または「◀◀」を押して
CONTRAST モードを選ぶ。



→ DIMMER → N.F.P → BEEP → MUTE → SCROLL → CONTRAST

- 3 「5」または「6」を押して、濃さを調整する。
- 6 ~ + 6 までの段階で調整することができる。



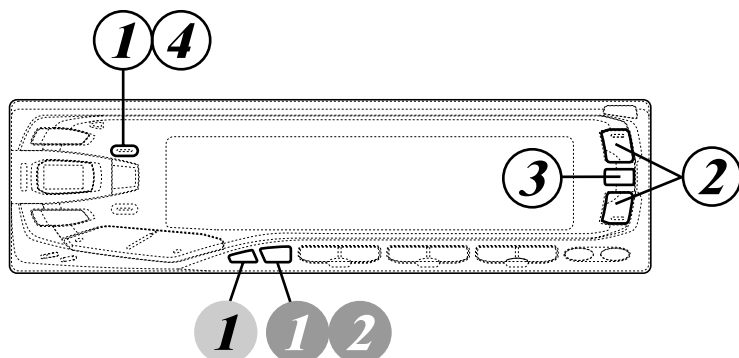
CONTRAST CEN
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「INTLZ」を押す。
通常表示モードに戻る。





操作音の切りかえ



操作音の切りかえ

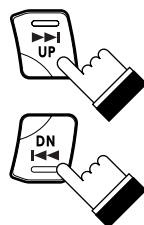
スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受けつけたことを伝えます。

- ① 「INTLZ」を3秒以上押す。



- ② 「▶▶」または「◀◀」を押して BEEP モードを選ぶ。

→ DIMMER → N.F.P → BEEP → MUTE → SCROLL → CONTRAST



- ③ 「▶/||」を押して、BEEP の設定を切りかえる。



BEEP ON ↔ BEEP OFF
(工場出荷時の設定)

- ④ 設定が終了したら「INTLZ」を押す。
通常表示モードに戻る。



可動ディスプレイの開閉時の警告ブザーは、BEEP の ON、OFF に関係なく音を出します。



スペアナ表示パターンの切りかえ

スペアナ表示パターンの切りかえ

スペアナ表示は本機単体で使用する場合と、CDA-5755Sを組み合わせただけの場合のみ表示します。

1

「DISP」を押す。

好みの表示パターンを9種類の中から選ぶ。



スペアナ表示パターン

パターン	表示	パターン	表示
1	NORMAL (上向き) 	6	左端基準 (右向き)
2	ピーク上昇 (上向き) 	7	右端基準 (左向き)
3	NORMAL (下向き) 	8	中心基準 (左右向き)
4	ピーク下降 (下向き) 	9	スキャン表示 (パターン1～8までエンドレスで5秒毎に繰り返します。)
5	センタ振り分け (上下向き) 		

スペアナ表示を楽しもう！

選ぶことのできる8種類の他に3種類を加え、それらを10秒間ずつ表示させることができます。CDA-5755Sを接続していれば更に複雑な表示を楽しむことができます。

1

「DEMO」を3秒以上押す。



2

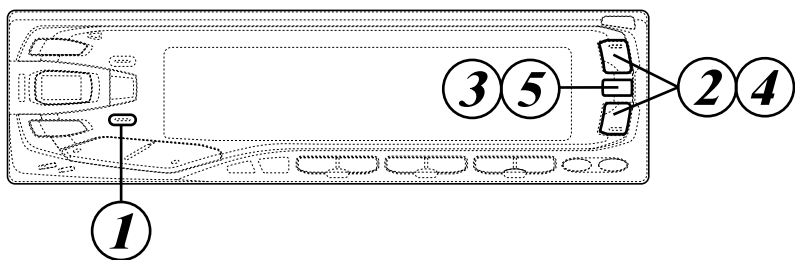
解除するには、再度「DEMO」を3秒以上押す。



便利な機能

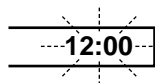


時刻を設定する

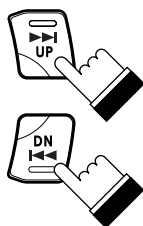


時刻を設定する

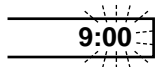
- ① 「CLK」を繰り返し押して、時刻表示モードにする。
「タイトル/テキストを表示する」(23 ページ)を参照。
更に「CLK」を3秒以上押す。
時刻が点滅して、調整モードに入る。



- ② 5秒以内に「▶▶」または「◀◀」を押して、「時間」を調整する。



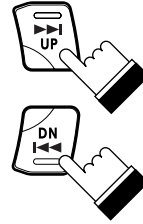
- ③ 調整したい数字になったら、「▶/||」を押して、「時間」を確定する。



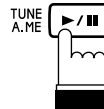
9:35 に合わせる場合



- ④ 5 秒以内に「▶▶」または「◀◀」を押して、「分」を調整する。



- ⑤ 調整したい数字になったら、「▶/||」を押して、「分」を確定する。



9:35



Memo

どのモード（MD、ラジオ、チェンジャーなど）でも時刻を設定することができます。

時刻を表示する

- ① 「CLK」を繰り返し押して、時刻表示モードを選ぶ。
「タイトル/テキストを表示する」（23 ページ）を参照。



12:00

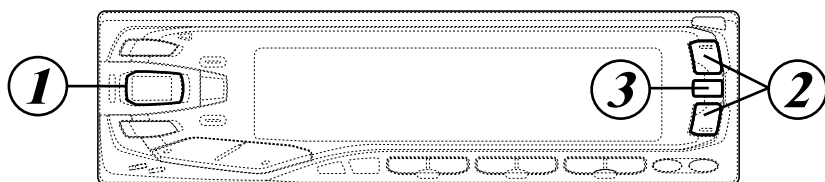


Memo

電源がOFFの状態では、「CLK」を押しても時刻表示はできません。
時刻を表示している状態で、ラジオ / MD などを操作すると、行った操作を 5 秒間表示した後、時刻表示に戻ります。



CDA-5755S を操作する



CDA-5755S を操作する

CDA-5755S を本機から操作することができます。

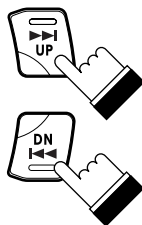
- ① 「SOURCE」を押して、CD モードにする。



→ TUNER → MD → CD → CHANGER

(各ユニットを接続している場合に表示)

- ② 「▶▶」または「◀◀」を押して、聴きたい曲 (トラック No.) を選ぶ。



- ③ 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。



Memo

曲の早送り / 早戻しをするときには、「▶▶」または「◀◀」を押し続けます。
次のページに本機から操作できる CDA-5755S の機能を一覧にしてあります。
表を参照して、各操作を行ってください。また、詳しくは、CDA-5755S の取扱説明書をご覧ください。



CDA-5755S を操作する

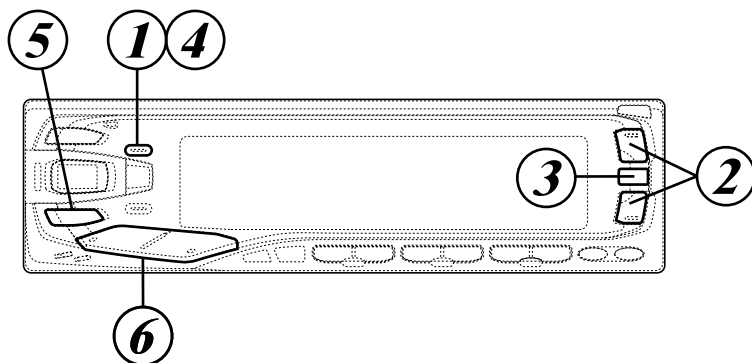
< MDA-7755JS から操作可能な CDA-5755S 機能一覧 >

スイッチ	操 作 説 明
SOURCE	押す毎に、ソースを切りかえる。 TUNER MD CD CHG (各ユニットを接続している場合に表示)
TITLE	MDA-7755JS と CDA-5755S の表示が次のように関連付けられる。 <div style="text-align: center;"> </div>
3 ¹	マニュアルモードのとき、テキストスクロールを行う。
4 ¹	曲順を変えて聴く (M.I.X.)
5 ¹	繰り返し聴く (RPT)
6 ¹	曲のイントロだけを聴く (SCAN)
▶▶	次の曲の頭出しをする。押し続けると早送りする。
◀◀	手前の曲の頭出しをする。押し続けると早戻しする。
▶/	演奏と一時停止を切りかえる。
MODE	押す毎に、オーディオ・モードを切りかえる。 VOL BAL FAD SUB W. (サブウーハーを接続している場合に表示)
	オーディオ・レベルの調整をする。
DISP	MDA-7755JS と連動して、スペアナ表示パターンを切りかえる。
DHE	このスイッチを押すと DHE 選択モードが解除されないため、押さない。 押したときは、このスイッチを 2 秒以上押して解除する。
F	ファンクション・モードを切りかえる。

1 「F」を押して、< インジケーター > を点灯させてから、各スイッチを押す。



サブウーハーを接続する



サブウーハーを接続する

サブウーハーを使うには、Ai-NET イコライザーを使う本格的な方法と、アンプだけを使う簡易的な方法（38 ページ）があります。

どちらの場合もローパスフィルター（一定の周波数以下の成分を通すフィルター）内蔵アンプをお使いください。

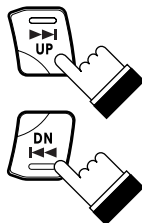
Ai-NET イコライザー（CDA-5755S など）を使うとき

<本機からサブウーハーレベルや位相の切りかえが可能になる>

- ①「INTLZ」を 3 秒以上押す。



- ②「▶▶」または「◀◀」を押して SUBWOOFER モードを選ぶ。



→ DIMMER → SUBWOOFER → SUB-W → BEEP → MUTE → SCROLL → CONTRAST



Subwoofer は Ai-NET 対応イコライザーを接続しなければ表われません。

サブウーハーを接続する



- ③ 「▶/||」を押して、SUBWOOFER を ON にする。



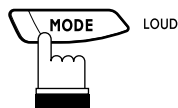
Memo

「▶▶|」または「|◀◀」を押して SUB-W モードを選んだ後、「▶/||」を押すと、サブウーハー出力の位相 (0 ° (NORMAL) / 180 ° (REVERSE)) を切りかえることができます。
お好みの音が得られる方を選んでください。

- ④ 設定が終了したら「INTLZ」を押す。
通常表示モードに戻る。

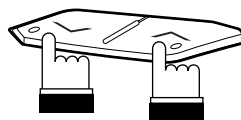


- ⑤ 「MODE」を押して Subwoofer モードを選ぶ。



→ VOLUME → BALANCE → FADER → Subwoofer ↘

- ⑥ 5 秒以内に「 」または「 」を押して、サブウーハー出力のレベル (0 ~ + 15) を調整する。

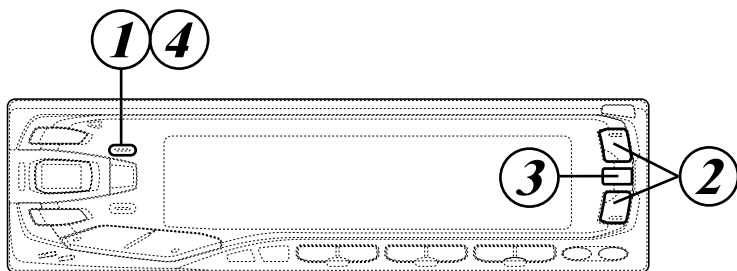


Memo

モードを選択して 5 秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。
「 」または「 」は、押し続けると連続で変化します。



サブウーハーを接続する



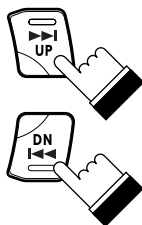
Ai-NET イコライザーを使わないとき

<サブウーハーレベルはアンプのゲイン調整（入力感度調整）で行う。位相の切りかえはできない。>

- ①「INTLZ」を 3 秒以上押す。



- ②「▶▶」または「◀◀」を押して
N.F.P.モードを選ぶ。



→ DIMMER → N.F.P. → BEEP → MUTE → SCROLL → CONTRAST



Memo

N.F.P.は Ai-NET 対応イコライザーを接続すると表われません。
この機能はフェダーと連動しない一定レベルのプリ信号を出力します。

- ③「▶/||」を押して、N.F.P.を ON にする。



N.F.P. ON ⇄ N.F.P. OFF
(工場出荷時の設定)

- ④ 設定が終了したら「INTLZ」を押す。
通常表示モードに戻る。



Memo

アンプのゲイン調整でサブウーハー出力のレベルを調整してください。位相の切りかえはできません。



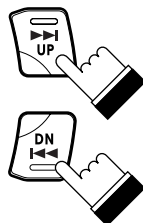
外部割り込みモードの設定

Ai 割り込み BOX (NVE-K200) と組み合わせると、ナビゲーションやテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。

- ① 「INTLZ」を 3 秒以上押す。



- ② 「▶▶」または「◀◀」を押して
MUTE モードを選ぶ。



→ DIMMER → N.F.P → BEEP → MUTE → SCROLL → CONTRAST

- ③ 「▶/||」を押して、MUTE OFF にする。



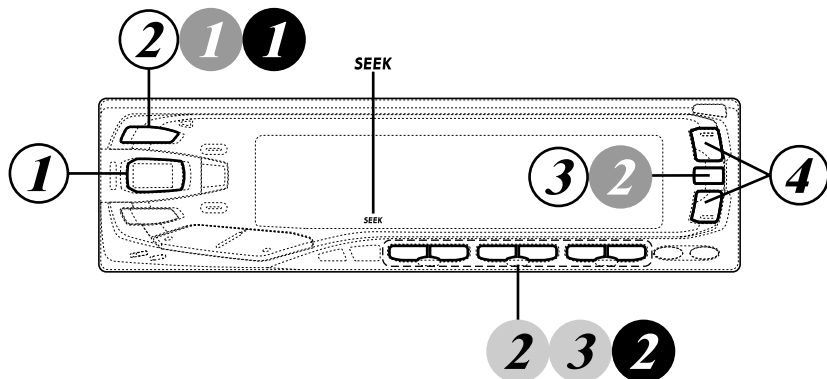
MUTE ON ⇄ MUTE OFF
(工場出荷時の設定)

- ④ 設定が終了したら「INTLZ」を押す。
通常表示モードに戻る。





TV (Ai-NET 対応) を操作する



TV (Ai-NET 対応) を操作する

放送局を選ぶ

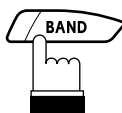
- ① 「SOURCE」を押して、TV モードにする。



→ TUNER → MD → TV → CHANGER

(各ユニットを接続している場合に表示)

- ② 「BAND」を押してバンドを選ぶ。



→ TV1 → TV2 → TV3

- ③ 「▶/||」を押して、チューニング・モードを選ぶ。



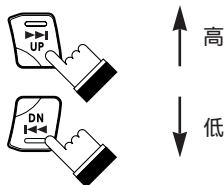
SEEK (SEEKモード)
↓
(消灯) (マニュアル・モード)



Memo

SEEK モードのとき.....受信可能な放送局 (チャンネル) を自動的に探します。
マニュアル・モードのとき... 1 段階ずつチャンネルが変わります。

- ④ 「▶▶」または「◀◀」を押して、放送局を選ぶ。

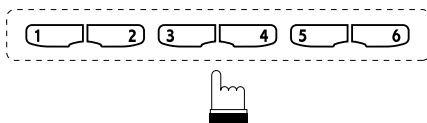




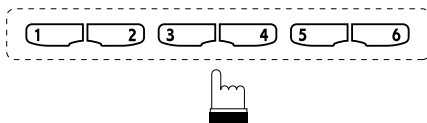
TV (Ai-NET 対応) を操作する

選んだ放送局を記憶する < 手動記憶 >

- 1 「放送局を選ぶ」を参照して
記憶させたい放送局に合わせる。
- 2 「1」～「6」のうち1つを2秒以上
押す。

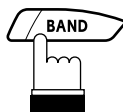


- 3 5秒以内に、「1」～「6」のうち
1つを押す。
押された No. に放送局が記憶される。



選んだ放送局を記憶する < 自動記憶 >

- 1 「BAND」を押して記憶させたい
バンドを選ぶ。



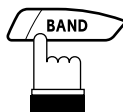
→TV1→TV2→TV3

- 2 「▶/||」を2秒以上押す。
電波の強いチャンネルを選択し、「1」～
「6」に記憶される。



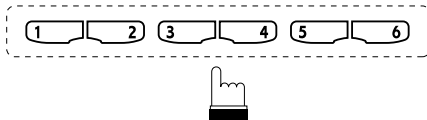
記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。



→TV1→TV2→TV3

- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。
ダイレクトに放送局が受信される。





リモコン操作

使用時のご注意

リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け 2 メートル以内でお使いください。

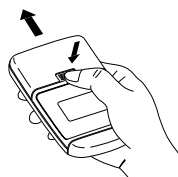
リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。

リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。

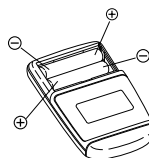
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気や埃を避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

電池を入れる

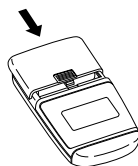
- 1 フタを開ける
フタを少し強めに押しながら外側へ押す。



- 2 電池を入れる
本体の ⊕、⊖ 表示通り入れる。



- 3 フタを閉める
“カチッ”と音がして固定される。



Memo

電池は単 4 乾電池 (UM-4) × 2 をご使用ください。

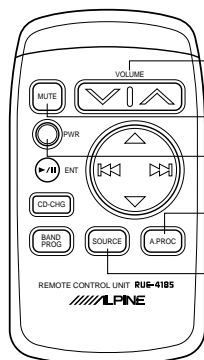
⚠ 警告

運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。



基本操作



音量を調節する。

瞬時に音量を下げる。再度押すと解除する。(リモコンでのみ操作可能)

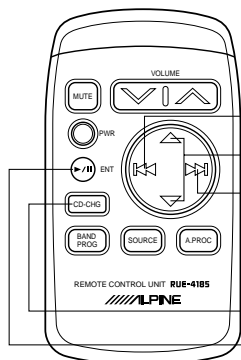
電源を ON/OFF する。

本製品では使用しない。

Ai-NET 対応外部オーディオ・プロセッサのイコライザー / サラウンドなどのモードを切りかえるとき使用します。

オーディオ・ソースを切りかえる。

MD/チェンジャー操作



曲の頭出し / 手前の曲の頭出しを行う。押し続けると早戻しする。

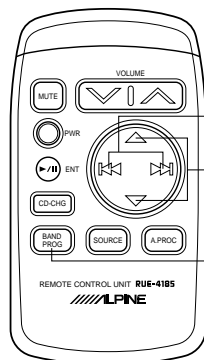
ディスク No. を切りかえる。

次の曲の頭出しを行う。押し続けると早送りする。

チェンジャー操作に切りかえる。

プレイ / ポーズを切りかえる。

ラジオ操作



自動的に放送局を選ぶ。

プリセット No. を切りかえる。

バンドを切りかえる。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを
故障と間違えていま
せんか？

→ 接続・配線は正しく
行われていますか？

→ 下の表をもう一度
ご確認ください。

→ それでも直らないときは、
お買い上げ店、またはお近くの
お問い合わせ窓口（P48）に
ご相談ください。

症 状	原 因	処 置
共 通 部	動作しない。 ディスプレイに何も 表示されない。	ヒューズが切れている。 規定容量のヒューズと交換する。（ 取付説明書 ） 内部のマイコンが、ノイズなど の原因で誤動作してしまった。 リセット・スイッチをボールペンの先などで押 す。（ P6 ）
	電源が入るが音が出 ない。	音量レベルが最小になっている。 音量レベルを上げる。（ P20 ） MUTE が ON になっている。 MUTE を解除する。（ P43 ） フェダーの設定が適切でない。 2 スピーカーで聴くときは、スピーカーのバラ ンスを前または後に設定する。（ P20 ）
	音量がコントロール できない。	システム・スイッチの切りかえ ミス。 電源コードを抜いて、システム・スイッチを切 りかえる。（ 取付説明書 ）
	電源 OFF のとき、時 計表示できない。	本機の仕様では、電源 OFF の とき、時計表示はできない。 電源を ON にして、時刻表示モードにする。 （ P33 ）
	記憶させた内容が消 えてしまった。	リセット・スイッチを押した。 もう一度記憶する。 電源コードまたはバッテリーを はずした。（ P7, P16, P17, P24, P25, P32 ） バッテリーコードの接続ミス 接続を確認する。（ 取付説明書 ）
	ディスプレイが暗い。	気温が低いときは、電源を入 れた後、しばらく暗いことがある。 しばらく待つ。
	警告ブザーが鳴る。	ディスプレイが開ききった状態 で約 30 秒経過した。 「▲」を押してディスプレイを閉める。 （ P7 ）
	ラウドネス / N.F.P. / BASS、 TREBLE の調整が表 われない。	外部オーディオ・プロセッサー と接続している。 外部オーディオ・プロセッサー側で調整する。
	DHE の機能が使えな い。	外部オーディオ・プロセッサー と接続している。 CDA-5755S など、DHE 機能を搭載した外 部オーディオ・プロセッサーを使う。
	DHE が点滅したま ま、早送りやディス ク選択が行えない。	外部オーディオ・プロセッサー （CDA-5755S）と接続してい るとき、「DHE」を押した。 「DHE」を 2 秒以上押して DHE モードを解除 する。（ P35 ）
M D 部	MD が入らない。	すでに別の MD が入っている。 MD の入れかたが間違っている。 MD を取り出してから入れ直す。（ P9 ） 本書を参照し、正しく入れる。（ P8 ）
	演奏が始まらない。 音がとぶ。 音が歪む。	車内温度が 50 以上ある。 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。 MD に傷がついている。 他の MD を再生してみる。（ P8 ） MD がひどく汚れている。 録音状態が良くない。 音楽用 MD でない。
	早送り / 早戻しがで きない。	結露している。 しばらく放置してから使う。 ピックアップレンズが汚れている。 メンテナンスをする。（お問い合わせ窓口へ） （ P48 ）

故障かな？と思ったら

症 状	原 因	処 置
ラ ジ オ 部	受信できない。 雑音が入る。	アンテナが接続されていない。 アンテナが確実に接続されているか確認する。 (取付説明書)
	アンテナが伸びていない。	アンテナを伸ばす。
	放送局の周波数が合っていない。 周りに障害物などがあり、受信 状態が良くない。	周波数を正しく合わせる。(P10) 見通しが良いところに移動する。
	自動的に放送局が 選べない。	電波の弱い地域にいる。 ディスタンス・モードまたはマニュアル・モードで受信する。(P10)

メッセージが表れたら...

メッセージ	原因	処置	
NO MAGAZINE	マガジンが CD チェンジャーにセットされていない。	マガジンを CD チェンジャーにセットする。	
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。	
	ディスクが入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏または、イジェクトができない。	次の方法でディスクを取り出す。 ①「▲」を押す。可動ディスプレイが開く。 ②可動ディスプレイが開いた状態で「▲」を3秒以上押す。	
BLANK DISC	ディスクに曲が入っていない。 (未録音ディスク)	ディスクに曲を録音してから使用する。	
High Temp	車内温度が高すぎる。	車内温度を常温まで下げる。	
No Data	タイトルが 1 件も入力されていない。	タイトルを入力する。	
NO TEXT	テキストが入力されていない。	CD テキスト対応の CD、またはテキスト入力された MD と交換する。	
Full Data	メモリーがいっぱいのため、タイトル入力できない。	不要なタイトルを消す。	
ERROR	MDヘッド・ユニット	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。 音楽用ディスクでない。	「▲」を押して、ディスクを交換する。
		結露している。	しばらく放置する。
		メカニズムエラー。	①「▲」を押して、ディスクを取り出す。 イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。 ②ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。 ③何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。
	CDチェンジャー	ディスクがマガジンに戻っていない。	①「▲」を押す。 ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。
		メカニズムエラー。	①「▲」を押す。 ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③それでも復旧しない...修理ご相談窓口へ。

そ
の
他

規格

< チューナー部 >

受信周波数	AM ; 522 ~ 1,629kHz, FM ; 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 μ V, FM; 0.8 μ V (75 %)9.3dBf(新 IHF)
ステレオ・セパレーション	FM ; 35dB 以上
SN 比	FM ; 65dB 以上
周波数特性	FM ; 30 ~ 15,000Hz
イメージ妨害比	FM ; 80dB 以上
IF 妨害比	FM ; 80dB 以上

< MD 部 >

周波数特性	20Hz ~ 20kHz (\pm 0.5dB)
ダイナミック・レンジ	90dB (1KHz) 以上
SN 比	90dB (1KHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

< リモコン部 >

使用電源	DC1.5V \times 2 (UM-4)
外形寸法	56 (幅) \times 14 (高さ) \times 105 (奥行)mm
重量	50g(電池は含まれない)

< 一般 >

使用電源	DC14.4V(動作範囲 ; 11 ~ 16V)
アース方式	⊖ アース
最大出力	44W \times 4
出力レベル	500mV/10k
バス・コントロール	\pm 15dB (30Hz)
トレブル・コントロール	\pm 10dB (10kHz)
外形寸法	178(幅) \times 50(高さ) \times 155(奥行)mm
重量	1.5 kg

この製品はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

< 付属品 >

品 名	数 量
取り付け用部品類	1 式
電源コード	1
リモコン	1
電池 (単 4)	2
RCA ピンケーブル	2
取扱説明書・保証書類	1 式

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。

保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

調子が悪いときまず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪いとき ...保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
お買い上げ店、または 48 ページの「お問い合わせ窓口」
にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。
保証期間中の修理保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、
保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有
料で修理させていただきます。
補修用性能部品製造打切り後、最低 6 年間保有しています。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または 48
ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げになった販売店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。

修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。

ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

インフォメーションセンター

・ FAX : 03-3494-1767 TEL : 03-3779-0711

・ 電話受付時間 平日9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

営業所・販売名	電話番号	住 所
北関東営業所	028-636-2931	〒321-0953 栃木県宇都宮市東區第4丁目2番20号 K Dビル
東京営業所	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地
千葉営業所	043-271-5950	〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷6-26-14 須藤ビル3F
中部営業所	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市東区猪子3丁目108番地
静岡出張所	054-283-0171	〒422-8032 静岡県静岡市有東3丁目9番1号 2F
関西営業所	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号
アルバイン北海道 (株)	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル
アルバイン東北 (株)		
仙台営業所	022-239-5331	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号
盛岡営業所	0196-47-0115	〒020-0133 岩手県盛岡市青山2丁目23番7号
秋田出張所	018-834-9822	〒010-0041 秋田県秋田市広面字川崎107-3 ポータル広面102
郡山営業所	024-925-3811	〒963-8051 福島県郡山市喜久山町八山字土布池11番5号-103
山形出張所	023-645-5321	〒990-0825 山形県山形市城北町2丁目10番8号 笹川ビル1F
アルバイン中四国 (株)		
岡山営業所	086-243-8257	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号
広島営業所	082-846-1175	〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2-11-16
高松営業所	087-869-3086	〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11
愛媛出張所	089-958-4707	〒791-1104 愛媛県松山市北土居町443-1 エクセル12 1-B

営業所・販売名	電話番号	住 所
アルバイン九州 (株)		
営業課 (北部九州)	092-513-1071	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井田1丁目12番22号
営業課 (中九州)	092-513-1072	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井田1丁目12番22号
長崎office	0957-27-1581	〒854-0074 長崎県諫早市山川町3-13
鹿児島営業所	099-253-7215	〒890-0034 鹿児島県鹿児島市田上6丁目27番15号
アルバイン関信 (株)		
長野営業所	0262-28-7970	〒380-0921 長野県長野市大字栗田314番地の3
松本営業所	0263-48-4772	〒390-0852 長野県松本市島立830-11 深澤ビル102号
高崎営業所	0273-61-5813	〒370-0073 群馬県高崎市鎌町3丁目16-6
阪和営業所	0722-58-8111	〒591-8023 大阪府堺市中区百舌鳥町4丁目57番地 サンライズ中百舌鳥103号
滋賀営業所	077-566-1140	〒525-0036 滋賀県草津市草津町1660番地
アルバイン新潟販売 (株)	025-270-7021	〒950-0862 新潟県新潟市竹尾764番地6号
アルバイン埼玉販売 (株)	048-664-7701	〒331-0852 埼玉県大宮市桜木町3丁目179番地
東京アルバイン販売 (株)	03-3253-2635	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1の13
アルバイン北陸販売 (株)	0762-40-8111	〒921-8066 石川県金沢市木匠3丁目72番1号
アルバイン三重販売 (株)	0593-80-0220	〒510-0235 三重県鈴鹿市南江島7-14
アルバイン京都販売 (株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通 堀川東入小泉町113番地の1
アルバイン兵庫販売 (株)	078-681-9733	〒652-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5の6
アルバイン高知販売 (株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号
(株)パルス	0986-66-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安達217番地3

修理ご相談窓口

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
北海道	アルバインカスタマーズサービス (株) 札幌	011-642-1688	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号
青森 岩手 秋田 山形 宮城 福島 栃木 茨城 群馬 東京 神奈川 埼玉 千葉 新潟 長野 山梨	アルバインカスタマーズサービス (株) 大宮	048-664-9711	〒330-0038 埼玉県大宮市宮原町1-664
静岡 愛知 三重 岐阜	アルバインカスタマーズサービス名神 (株) 中部	052-760-0850	〒465-0021 愛知県名古屋市東区猪子3丁目108番地
福井 富山 石川	アルバインカスタマーズサービス名神 (株) 関西	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
滋賀 京都 大阪 和歌山 奈良 兵庫	アルバインカスタマーズサービス名神 (株) 関西	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号
岡山 鳥取 島根 岡山 山口 香川 愛媛 徳島 高知	アルバインカスタマーズサービス西日本 (株) 岡山	086-244-8163	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号
福岡 佐賀 大分 熊本 長崎 鹿児島 宮崎 沖縄	アルバインカスタマーズサービス西日本 (株) 福岡	092-513-1081	〒816-0081 福岡県福岡市博多区井田1丁目12番22号

修理ご相談窓口

名 称	電話番号	住 所
北海道		
西島家電商事札幌店	011-762-0458	札幌市北区新川5条2丁目3-18
大阪電子（株）	011-661-2414	札幌市西区西野3条3丁目5番地1号
輪島電機（株）	0138-48-8181	旭川市西条町168番地の2
千代田電装工業（株）	0162-22-8451	旭川市三条通2丁目18-9-10
(有)北網通信特機	0157-61-8463	北見市高森西町6丁目4番4号
青森県		
(有)太陽電機	0178-50-5300	八戸市沼館1-19-5
三浦電装	0178-28-4410	八戸市南町2丁目23-16
岩手県		
(有)交通電機商事	0196-87-1561	岩手県滝沢村鶴崎字上高柳64
秋田県		
管電装	0188-68-2761	秋田市外旭川字島谷地212-2
山形県		
カーサウンドサイト-	0236-24-8953	山形市桜田西3丁目47
(有)山王電子サービス	0232-22-1832	酒田市松原南21-4
宮城県		
(株)日本電機サービス（仙台）	022-254-4531	仙台市宮城野区福室字産栗35
サナキサウンド	022-278-7117	仙台市青葉区南田町6-13
(合)広々電気商会	022-362-4332	塩釜市西土川11-1-20
大田代電機	0225-22-4936	石巻市白日和4-4-10
アソ電装	0229-23-8265	古川市中里1丁目11番5号
福島県		
(株)長南電機	0245-45-5161	福島市若菜町の後51-1
若広通信特機サービス	0249-43-5878	郡山市安積町日出山1丁目95-3
エドワーズ電機システムズ	0249-52-8417	郡山市希望ヶ丘10-20
(株)オートデンソーマルヤマ（郡山店）	024-95-5388	郡山市安積町井字方八丁5-2
(会津支店）	0242-24-1717	会津若松市北町大字藤室字横道53-1
(白河店）	0248-23-4555	白河市五番町川原50番地の1
茨城県		
(株)日本電機サービス（茨城）	0292-47-3231	水戸市住吉町64
(株)日本電機サービス茨城	0292-43-6516	水戸市千波町2345-13
栃木県		
(株)日本電機サービス（栃木）	028-648-6261	宇都宮市鶴田町1362-2
サンエーサービス	028-653-8623	宇都宮市吉田の173-38
群馬県		
(株)日本電機サービス（北関東）	0276-46-5885	太田市小舞木町377
グリンニクスサービス	0273-82-5024	安中市高沼町709-1
長野県		
恵田電子サービス	0263-53-6723	長野市広丘堅石5146-338
オーディオサービスヨシムラ	026-226-4199	長野市栗田653-4アズミビル2F
新潟県		
(有)ムツミ電装	025-285-1919	新潟市堀川町43-6
(株)丸山電機	0258-27-0009	長岡市大島本町5-118-10
(有)トミザワテクノ	025-270-7021	新潟市竹尾764番地5号
東京都		
アース電機（株）	03-3759-7821	1-146-0095 大田区多摩川2-9-17
アライ電機産業（株）	03-3925-1602	1-179-0075 練馬区高松6-33-14
(株)日本電機サービス（東京）	03-3385-3681	1-167-0042 杉並区西武北1-8-20
(株)キャリーサービス	03-3671-7001	1-133-0051 江川区北小岩1-11-7
三井無線（有）目黒営業所	03-3719-3625	1-153-0042 目黒区青葉台1-27-15
(有)テクニカルサービス	03-3558-7008	1-115-0051 北区浮間2-10
AL電機	0425-58-7773	1-197-0803 あきる野市瀬戸町255
計測システムズ	0425-51-9350	1-197-0011 福生市塩土2241番地 P108号
	0427-97-4954	1-190-0182 西多摩郡日の出町坪井2040
神奈川県		
(株)日本電機サービス（神奈川）	045-853-2510	1-241-0031 横浜市区今賀西町255
関東電子サービス（株）	045-834-4081	1-226-0023 横浜市緑区小山町282-7
(株)エルファエレクトロ	045-242-0029	1-220-0022 横浜市西区花畑町4丁目116番地
埼玉県		
アルパイン工場販売（株）	046-664-7701	1-331-0852 大宮市桜木町3-179
(株)日本電機サービス（埼玉）	046-651-2327	1-331-0043 大宮市大成町4-36-1
千葉県		
(株)日本電機サービス（千葉）	043-232-6132	1-264-0022 千葉市若葉区桜木町471-8
静岡県		
(株)日本電機サービス（静岡）	054-247-2522	1-420-0804 静岡市南南16-1
加藤自動車音響商会	053-461-6781	1-435-0043 浜松市宮町1-49-1
三和電子サービス（株）	053-448-8551	1-432-9061 浜松市入野町9156

(般)

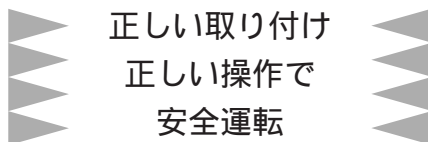
名 称	電話番号	住 所
愛知県		
(株)日本電機サービス（名古屋）	052-702-1071	1-465-0067 名古屋市中区篠原町大字高針字メクス10-1
(株)センターコパヤシ	052-881-3400	1-466-0059 名古屋市中区篠原町3丁目1-40
名陽電機（株）	052-761-5306	1-466-0863 名古屋市中区江岸通1-2
名電機器商会	052-241-9797	1-460-0007 名古屋市中区新栄3-11-24
源広電機商会	052-914-3321	1-462-0023 名古屋市中区安井1-11-1
秋サース電機	052-793-6844	1-463-0081 名古屋市中区山王川町394-1
(有)前田電機	052-561-5110	1-451-0051 名古屋市中区御洗町2丁目25番地6号
サカタ電機	052-805-7887	1-468-0043 名古屋市中区菅田2丁目701
(有)横井計器	0562-48-5223	1-474-0061 大府市共和町（ちよろ）6-262-1
フジサウンド（株）	0587-55-8511	1-483-8222 江南市赤巻子町藤家41
三重県		
FIX	0593-40-3134	1-510-0244 鈴鹿市白子町字北新田1896-1
(有)今尾電機	0593-42-1287	1-513-0816 津市南五丁目5434-1
富音サービス	0596-23-4531	1-516-0071 伊勢市一木町丁586
富山県		
ナノ/商会	0766-54-1585	1-939-0413 射水郡大門町串田288
石川県		
辰口電機	0761-51-2488	1-923-1201 能美郡辰口町若内口75-2
福井県		
(株)バーメンテサービス	0776-35-8182	1-918-0185 福井市花室南1丁目5-4
滋賀県		
滋賀オーディオサービス	0748-55-2070	1-529-1541 蒲生郡蒲生町蒲生338-78
京都府		
洛西電子	075-331-4847	1-610-1153 京都市西京区大原町南春日388
電装整備（株）	075-821-5843	1-802-8365 上京区丸太町御前通ビル
ヤマト電気	075-605-1903	1-872-8474 京都市伏見区下鳥羽円面田町45-1 トロス1F
大阪府		
(株)日本電機サービス（関西）	06-6827-0801	1-533-0001 大阪市東淀川区井筒4丁目6-27
サユコーオーディオ	06-6768-0597	1-543-0011 大阪市天王寺区清水谷町3-15 ダイカビル2F
タツミ電気商会	06-6573-3605	1-552-0007 大阪市港北区津島3-4-1
フジオーディオサービス	0722-23-8685	1-580-0074 堺市北花田町1-2-27
和歌山県		
ミナト電機商会	0734-23-0681	1-640-8251 和歌山市南中町48
奈良県		
エルパ（株）	0742-22-1201	1-630-8325 奈良市西辻1丁目20番62
兵庫県		
ニソサービス	078-652-1099	1-652-0873 神戸市兵庫区金平町1丁目32-9
兵庫電子サービス	078-652-3646	1-652-0834 神戸市兵庫区本町1丁目1-6 浅沼マンション1F
(有)ケーイー神戸サービスセンター	078-611-6559	1-657-0036 神戸市東灘区江崎2-5-20 第6甲センタービル
(株)雄道電子	078-302-6615	1-650-0046 神戸市中央区港島中町3丁目2-1
太77電子	0792-37-3703	1-671-1523 姫路郡太子町東南字川井647-3
岡山県		
中田電器	086-262-9146	1-702-8058 岡山市並木町2丁目8-17
大熊電機	086-422-6460	1-719-1173 郡守郡清村黒田14
広島県		
(有)北洋電子	082-291-6537	1-733-0012 広島市西区中広町2丁目3番12号
(有)伸栄サービス	0849-31-3761	1-721-0966 福山市手嶋町1丁目2-31
香川県		
(株)松岡電機サービス	087-843-1040	1-761-0102 高松市新田町字北平470-11
愛媛県		
(有)増田電機サービス	0899-57-3174	1-791-1112 松山市南高井町1982-3
徳島県		
みの電子パーツ	0886-33-2812	1-770-0801 徳島市上動任町大坪182-4
高知県		
ナムラ	0888-32-4548	1-780-8027 高知市高見町303番地1
(株)シキデン	0888-83-5101	1-780-0056 高知市北本町3-10-39
福岡県		
(株)日本電機サービス（福岡）	092-441-7658	1-616-0092 福岡市博多区東那珂2丁目14-26-1
池田電機	093-571-1355	1-603-0841 九州市小倉北区清水1丁目20-9
中元電器	0948-22-4830	1-620-0011 飯塚市大字柏の森13-67
久留米音響サービス	0942-21-3781	1-630-0052 久留米市上津1651-2
佐賀県		
佐賀デニカルサービス	0952-33-5343	1-849-0832 佐賀市鍋島町大字戸溝1252-13
大分県		
胡田電機サービス	0975-97-1957	1-870-0927 大分市北本町1組107
熊本県		
大塚電機	096-372-1403	1-860-0811 熊本市本町2-3-22
長崎県		
島原無線	0957-64-0821	1-855-0801 島原市高島2-7208
(有)野中電機	0956-58-6494	1-859-3241 佐世保市有福町576-1
沖縄県		
(株)パリス	0988-66-1916	1-900-0003 那覇市安波217番地3

その他

クイック・リファレンス

代表的な用語を説明しているページへ案内します。

用語	記載 ページ	ページタイトル
A.ME/AUTO MEMORY (オート・メモリー).....	17	自動的に放送局を記憶する
BALANCE (バランス).....	20	音質 / バランス / フェダーの調整
BASS (バス).....	20	音質 / バランス / フェダーの調整
BEEP (ビーブ).....	30	操作音の切りかえ
CONTRAST (コントラスト).....	29	ディスプレイの濃淡調整
D.A.P (ダイレクト・アクセス・メモリー・プリセット).....	18	D.A.P を利用する
DHE (デジタル・ハーモニクス・エンハンサー).....	21	DHE モードを選ぶ
DIMMER (ディマー).....	28	ディスプレイの明るさ調整
DX SEEK (ディーエックス・シーク).....	10	ラジオを聴く
FADER (フェダー).....	20	音質 / バランス / フェダーの調整
LOUD (ラウドネス).....	9	ラウドネスを使う
M.I.X. (ミュージック・イン・クロスプレイ).....	15	曲順を変えて聴く
MONO (モノラル).....	11	モノラル受信に切りかえる
MUTE (ミュート).....	43	リモコン操作
N.F.P (ノンフェダー・ブリアウト).....	38	Ai-NET イコライザーを使わないとき
RPT (リピート).....	15	繰り返し聴く
SCAN (スキャン).....	14	曲のイントロだけを聴く
SCROLL (スクロール).....	22	タイトル / テキスト / スクロールとは
SEEK (シーク).....	10	ラジオを聴く
	40	TV (Ai-NET 対応) を操作する
SUBWOOFER (サブウーハー).....	36, 37	サブウーハーを接続する
T.S.M. (タイトル・サーチ・メニュー).....	26	記憶したタイトルから CD を選ぶ
TREBLE (トレブル).....	20	音質 / バランス / フェダーの調整
TRF (トラフィック・インフォメーション).....	19	道路交通情報を受信する
リセット.....	6	リセットする



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

〒141-8501 東京都品川区西五反田 1 丁目 1 番 8 号

FAX : 03-3494-1767 TEL : 03-3779-0711

電話受付時間 平日 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

電話は混雑が予想されます。FAX かハガキをおすすめします。

アルパインホームページ : <http://www.alpine.co.jp>

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Korea (S)

68P01149K90-O